

平成30年 2月 5日

京都大学大学院理学研究科  
附属天文台  
台長 柴田一成

平成30年度 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡(DST)観測研究課題公募

飛騨天文台のドームレス太陽望遠鏡を使用した平成30年度の観測研究課題を、以下の要領で募集いたします。

1. 公開期間

前期： 4月16日（月）～ 7月27日（金）

後期： 10月 1日（月）～ 2月 8日（金）

（ただし、12月以降は気象条件が悪くても実施可能なテーマの場合に限り、指定することをお薦めします。）

2. 応募資格

日本国内に在住の天文学・地球惑星科学系の研究・教育者、  
もしくは海外在住で常勤職に就いていない同分野の日本人研究・教育者  
(いずれも大学院生(平成29年度現在)を含む)

3. 申し込み方法

(1) 課題申請用紙を以下のホームページからダウンロードしてください

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/observation/proposal/>

(2) 申請用紙に必要事項を記入し、飛騨天文台 DST 係宛 (hida-dst@kwasan.kyoto-u.ac.jp) に電子メールで添付ファイルとして送信して頂くか、以下の宛先までお送り下さい。

〒506-1314 岐阜県高山市上宝町蔵柱 京都大学飛騨天文台 DST係  
記入欄のスペースが足りない場合は、適当に拡大して頂いたり、別紙を付けて頂いたりしても結構です。

複数の研究課題を提案される場合は、各々の課題につき1通ずつ申請書を作成して下さい。

(3).受付担当からのメールが届いたことを確認してください。(受付担当者からのメールが届かなければまだ申請は受付られていません。数日経ってもメールが来ない場合はお問い合わせ下さい。)

(4) 申し込み締切 **平成30年3月12日(月) 必着**

(5) 研究課題立案に必要な望遠鏡設備の情報は以下のホームページをご参照ください。

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/general/facilities/dst/index.html>

#### 4. 採択結果の通知

各申請書を DST 共同利用委員会で審査の後、採択結果は**4月2日の週**にメール もしくは郵便でお知らせ致します。

#### 5. そのほか

(1) DST 常設以外の光学系や諸機器を使用される場合は、その設置について十分な検討が必要です。あらかじめお知らせください。

(2) 申請代表者が直接来台して観測することが難しく、観測を当天文台職員を含む代理人に依頼する可能性のある場合は、その旨「観測方法」欄に記述し、その観測予定者を「共同研究者」欄にも明記して下さい。

(3) 教育目的の実習等での DST の利用も対応可能な場合がありますので、そのような計画をお持ちの方は、当公募とは別途、飛騨天文台 DST 係まで御相談下さい。

(4) 原則として**来台初日に研究課題、観測計画・方法についてセミナーにて発表していただきます**ので、発表資料をご準備ください。

(5) 当該年度の公開期間終了後に行なわれるユーザーズミーティングを兼ねた**太陽研連シンポジウム**において、**改めて研究課題や観測結果・成果について発表していただきます**。

(6) 機器故障や太陽活動状態によって、観測期間の変更をお願いする場合がありますことを、ご了承ください。

(7) DST で取得されたデータは、当天文台に帰属します。成果を公表する場合には、当該データが DST にて取得された旨を明記ください。また、別刷り 3 部もしくは PDF を飛騨天文台 DST 係宛までお送りください。

(8) ご不明点は、飛騨天文台 DST 係までお問い合わせください。

電子メール: [hida-dst@kwasan.kyoto-u.ac.jp](mailto:hida-dst@kwasan.kyoto-u.ac.jp)、電話: 0578-86-2311、FAX: 0578-86-2118

以上

# 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡 観測研究課題申請書

年 月 日

## 1. 研究課題名

--

## 2. 研究代表者（平成 29 年度現在の情報を記入して下さい）

氏名： \_\_\_\_\_ 所属： \_\_\_\_\_ 職名又は学年： \_\_\_\_\_

住所： 〒 \_\_\_\_\_

tel. : \_\_\_\_\_ fax : \_\_\_\_\_ e-mail : \_\_\_\_\_

本課題取得データの学位論文での使用予定：あり・なし

## 3. 共同研究者

氏 名	平成 29 年度現在の 所属・職名又は学年	tel.	e-mail

## 4. 観測テーマ、観測方法（具体的に）

--

5. これまでの取得データの現況（継続の場合）及び論文執筆の計画

6. 観測希望単位数および希望日

観測期間は原則として月曜から金曜を一単位とします。

スケジュール調整の参考にしますので、各単位につき複数の来台希望期間をご記入下さい。

（希望単位数が多い場合は、必ずしも御希望に添えない場合があります。）

希望単位数：

第一希望期間：

第二希望期間：

第三希望期間：

7. 送迎の要不要について

濃飛バス「堂殿」もしくは「上宝支所」、「見座」停留所～天文台間のみ、天文台公用車による送迎が可能です。

必要（堂殿まで・上宝支所まで・見座まで）

不要